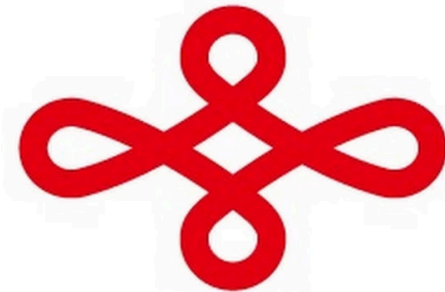


# 文教交流委員会 議会報告会

令和8年度 予算審議報告 / 令和8年5月9日

## 委員構成

- 委員長：山本道代
- 副委員長：牧一心
- 委員：藤井基夫
- 委員：杉浦こうき
- 委員：牧博之
- 委員：山本栄児
- 委員：山市志保



西尾市  
Nishio City

# 図書購入費の減額

## Q 委員からの質疑

令和8年度の図書購入費はどうなったか。また、旬の本や話題作は引き続き購入できるのか。予約待ちの長期化は起こらないか。

## A 執行部の答弁

- 枠配分方式の導入により、図書購入費を**157万8千円減額**した。
- 旬の本・話題作については、利用者のニーズを見極めながら引き続き購入していく方針。
- ベストセラー本については、**予約者12人につき1冊、最大7冊まで**を購入するルールで対応し、予約待ちの長期化を抑制する。

# アントレプレナーシップ教育（起業家精神教育）

## Q 委員からの質疑

アントレプレナーシップ教育とはどのような事業か。また、教員の負担増はどの程度見込まれるか。

## A 執行部の答弁

- 児童生徒が自ら課題を見つけ、他者と協働して解決する力や挑戦する姿勢を育成することを目的とした事業。
- 学校が「アントレプレナーシップ教育計画書」を教育委員会に提出し、予算の範囲内で実施。
- 総合的な学習の時間や児童会・生徒会活動の延長線上であり、多大な業務負担とはならないと考えられている。

小学校

補助上限 20万円

中学校・義務教育学校

補助上限 100万円

初年度

令和8年度スタート

# ICT推進事業

## Q 委員からの質疑

紙の教材とタブレット活用の教育バランスは適切になっているか。

## A 執行部の答弁

- 予算額は昨年度と同額の**21万円**。
- 紙の教科書・教材を主に使用しながら、児童生徒の個別学習においてデジタル教材・タブレット端末を活用している。
- 「紙かデジタルか」の二者択一ではなく、紙の良さを大切にしながらデジタルを組み合わせていく方針。



# 社会教育委員・生涯学習推進員の役割

## Q 委員からの質疑

社会教育委員および生涯学習推進員の役割はどのようなものか。

## A 執行部の答弁

- **社会教育委員**：西尾市社会教育委員設置条例に基づき教育委員会が委嘱。11名で構成し、年2回審議会を開催。教育や施設運営など幅広く審議・助言を行っている。
- **生涯学習推進員**：西尾市附属機関に関する条例に基づき教育委員会が任命。9名で構成し、生涯学習推進計画の策定に尽力している。

11

社会教育委員  
年2回審議会開催

9

生涯学習推進員  
生涯学習推進計画策定

¥343万

両者合計予算  
生涯学習課全体人件費：  
約1億5,200万円

# チャレンジみらい塾

## Q 委員からの質疑

社会教育審議会ですべてに重要と認識されている案件はあるか。

## A 執行部の答弁

地域の大人が講師となり子どもたちに学校外の学びを提供する「チャレンジみらい塾」について、参加者の少ない教室の今後の運営方針が議論されている。

- 令和7年度：**63教室**でスタート。
- 令和8年度の募集は**67教室**に再編。



# 小学校給食費無償化

## Q 委員からの質疑

令和8年度より給食費無償化を実施するとのことだが、財源はどうなっているか。またアレルギー児童への対応はどうか。

## A 執行部の答弁

- 令和8年度より西尾市内全小学校の給食費を無償化。
- 食材費を1食310円から330円（20円増額）に引き上げる。
- 給食を食べられないアレルギー児童の保護者へは「学校給食非喫食児童代替補助金」として約400万円を措置。

総事業費

5億8,566万円

県交付金

5億1,886万円

（約89%）

国交付金

6,680万円（約11%）

アレルギー対応

代替補助金

約400万円

# スポーツイベントと観光事業

## Q 委員からの質疑

今年開催される第20回アジア競技大会に関連した観光事務費の内容はどのようなか。

## A 執行部の答弁

国から交付される「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用。

1. **宿泊客誘致キャンペーン業務委託料：1,400万円**  
アジア競技大会を契機としたスポーツイベントの盛り上げを図る。
2. **外国人観光客受入環境整備事業補助金：600万円**  
エネルギー・食料品価格高騰により影響を受けた宿泊・観光業を支援する。



# きめ細やかな教育の推進事業

## Q 委員からの質疑

市が一般財源で独自に非常勤講師等を増やすことは望ましい一方、一般財源が膨らむことが懸念される。県に対し、十分な教員配置ができるよう要望を行っているか。

## A 執行部の答弁

- 教員不足は県全体の課題であり、他市町村においても独自で非常勤講師等を配置している状況。
- 西尾市教育委員会では愛知県市町村教育委員会連合会の一員として、愛知県教育委員会に対し教員配置の改善充実等を要望してきた。
- 今後も継続的に要望を行っていく。

事業費合計

660,465千円

国 負担分

4,359千円 (約0.7%)

県 負担分

102,620千円

(約15.5%)

一般財源

553,486千円

(約83.8%)

主な配置予定人数 (前年度比)

非常勤講師 (教科担任)

36人 (+1)

教育アシスタント

101人 (+2)

特別支援教育スーパーバイザー

3人 (+1)

スクールソーシャルワーカー

6人 (+1)

# ご清聴ありがとうございました

文教交流委員会  
令和8年5月9日

